



この広報誌は、みなさんの会費で作られています。

『みんなのお家』を創ろう！

～運営部門スタッフと円鏡寺公園旧売店の
改修工事について話し合い～



年齢や対象者を限定せず、地域の皆さんが誰でも参加できる地域共生型の居場所づくりを目指して、住民の皆さんと一緒に「みんなのお家」の開設に向けて準備を進めています。

この日は、開設場所の円鏡寺公園旧売店の改修工事について、運営部門スタッフの皆さんと一緒にどのように改修をしたらよいのか現地で話し合いをしました。「ここは無くしたほうがいいな」「こんな使い方がしたい」など、いろんなご意見をいただきました。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で開設時期は未定ですが、『みんなのお家』の改修につきましては、もうすぐ完成予定です。

開設日が決まりましたらお知らせしますので、楽しみにお待ちください。

お問合せ先 北方町社会福祉協議会

本巣郡北方町北方1345番地の2 TEL (058) 324-6550 FAX (058) 323-3114
<https://kitagatashakyo.or.jp/>



いつでも誰でもつながれる /

北方町 みんなのお家



今月号の表紙でもご紹介をしましたが、いつでも誰でもつながれる地域交流の拠点として、「みんなのお家」の開設に向けて準備を進めています。

「みんなのお家」では、「子ども食堂」「地域交流カフェ」「サロン」や子どもを対象とした「木育教室」「遊び・学びの場」などを計画しています。現在使用していない円鏡寺公園旧売店を改修し、子どもから大人まで北方町に住むみんなが集える居場所にしたいと考え、現在スタッフの皆さんと一緒にどんな内容にしようかと話し合いを重ねています。

開設予定の「子ども食堂」のボランティアスタッフさんと、8月に食品の安全について勉強会を行なうなど、少しずつですが開設に向けて進んでいます。



現在の日本社会は、住まい方の変化、人口構造や家族構成の変化などで、かつてあった近隣の助け合いや人とのつながりが希薄になっており、全国各地で孤立や孤独死などの問題が起こっています。子どもから高齢者まで年齢に関係なく誰もが安心してふれあえる関係づくりを目指し、「みんなのお家」を皆さんと共に創っていただけたらと考えています。

一緒に今後の企画や運営を一緒に考えてくださるボランティアさんを随時募集しています。北方町のまちづくりを一緒に創っていきませんか。皆さんの参加をお待ちしています。



社会福祉法人
北方町社会福祉協議会
☎ 324-6550

自分らしい暮らしのお手伝い



円苑だより



円苑では7月より利用者の皆さまに個別機能訓練を行なっています。

これは高齢者の方が住み慣れた自宅、地域でいつまでも元気に、そして生き生きとした生活が送れるよう、また「立つ」「座る」「歩く」等の動作が行えるように身体機能や生活能力の維持・向上を目指す為、個別のプログラムに沿って訓練を行うものです。



ペットボトルで
いち・に・いち・に



毎回1時間ほどの運動時間を設け、全身ストレッチから始まり、ゴムボールやペットボトルを使用しての上下肢の筋力トレーニング、発声練習による口周りの筋力トレーニングや呼吸筋のトレーニングといった訓練を行っています。

手のひらサイズのゴムボールをギュッと握り潰せば握力トレーニングに。空のペットボトルに入れる水の量を変えれば運動負荷が変えられます。

このように身近にある物を使用することで馴染みやすく、自宅でも運動を継続して頂くことができます。

「できる限り自立した生活がしたい」というご本人の思いや「元気でいてほしい」というご家族の思いへの手助けになれるよう、今日も訓練を行っています。

見学・体験
大歓迎です!!

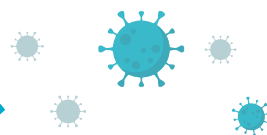
北方町デイサービスセンター **円苑**

☎ **323-6294** 北方町高屋白木2丁目38番地





新型コロナウイルス 感染症対策に関するお知らせ



新型コロナウイルス感染症対策のため、事業内容によっては延期や休止をしておりますが、感染対策をしながら行なっている事業もあります。どのように行なっているのかをご紹介します。



職員研修で学ぶ

まずは、新型コロナウイルスを知ることが重要ではないかと考え、医療法人和光会山田病院の渡邊正人先生に『コロナ感染症と新しい生活様式』と題して講義をお願いし、職員研修を行ないました。

職員が、正しい知識を持つとともに、感染対策について共通理解を深めることができました。

ホームヘルプステーション 訪問時の感染対策



①出社時退社時の検温



②マスク・エプロン着用、手指消毒の徹底



③利用者宅では手袋着用

利用者の中にはお一人で生活されている方もみえ、介護の現場は休むことができません。感染対策をしっかり行ない訪問をしています。

デイサービスセンター円苑 感染対策



介護現場では、どうしても濃厚接触になりがちですので、検温、手指消毒はもちろん、お風呂の介助時はフェイスシールドを装着しています。

また食事の時は間隔を取り、感染対策を行ないながら開所しています。



障がい福祉サービス事業所もちの木 感染対策



朝、昼に検温を行ない、体調管理をしています。マスク・手指消毒を行ない、また利用者同士の間隔を保ち、パーテーションを設置して飛沫感染対策も行なっています。



認知症カフェまどか 感染対策



『認知症カフェまどか』は、月・水・金曜日の13時半よりいきいき支援センターまどかで開催しています。参加される方に検温、手指消毒、マスク着用をお願いし、間隔を保ちながら体操やレクリエーションを行なっています。参加後は、使用した椅子の消毒を行なっています。

男性料理教室 感染対策



9月より『男性料理教室』を開催し、検温・手指消毒・マスク着用で料理を作りました。今まで1テーブル4、5名で食事をしていましたが、コロナ感染対策として1テーブル2名で食事をしました。



次回は**12月10日に開催予定**です。
参加希望の方は、**社協 (☎ 324-6550)** まで

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金運動が始まります!

10月1日~12月31日

共同募金運動は、毎年10月から「赤い羽根」をシンボルに、全国一斉に始まる募金運動です。集まった募金の約70%は、皆さんの住んでいる町を良くするために使われています。残りの30%は皆さんの住んでいる市町村を超えた広域的な課題を解決するための活動に、都道府県の範囲内で使われます。

災害にも共同募金は使われています。大規模な災害が起こった際の備えとして、各都道府県の共同募金会では、募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するために使われています。

何卒共同募金の主旨をご理解いただき、今年度もご協力をお願いいたします。



北方町ではどのように共同募金が使われているの?



北方福祉フェスティバル



福祉協力校、福祉協力園、福祉団体、ボランティアの皆さんのご協力をいただき開催しています。

ふれあいいきいきサロン助成事業



社協に登録している活動中のサロンへ活動費の助成を行っています。

地域福祉啓発事業



毎年1月に地域住民の方を対象とした講演会や映画上映会を開催しています。

ふれあい交流会



70歳以上のひとり暮らしの方と障がい者手帳をお持ちの方を対象に児童・生徒とのふれあい交流会を開催しています。

皆さまからお寄せいただいた募金は、北方町の地域福祉を推進しています。

赤い羽根共同募金箱 イラストコンクール 特選決定!!

多くの方に赤い羽根共同募金運動に親しんでいただけますよう、このたび北方町の小学生・中学生を対象に赤い羽根共同募金箱へ掲載するイラストを募集したところ、157点もの応募がありました。厳正な審査を行い3点の特選作品を決定しましたので、ご紹介いたします。

たくさんのご応募ありがとうございました。



北方南小学校 6年
澤内 侑依



北方中学校 1年
濱口 桂寿



北方小学校 2年
梅田 花音

特選作品を掲載した赤い羽根共同募金箱を町内公共施設などに置かせていただきますので、皆さま募金にご協力お願いいたします。

令和2年度 福祉標語 特選作品紹介

本年は、『感謝の気持ち～新型コロナウイルスの影響を受けて～』をテーマに、471人の応募をいただきました。その中から福祉委員会で審査し、次の作品を特選と決定しました。

考えよう今自分がすべきこと

北方小学校 5年 今嶋 千晴

人々の支える気持ちうれしいね

北方小学校 5年 遠藤 星汰

病院でたたかうみんなありがとう

北方小学校 6年 川東 さき

ありがとう かんせんようぼうして
ごはん作るお母さん

北方西小学校 4年 長澤 祐杏

ゆったりと家族で過ごす 自しゆく期間

北方西小学校 6年 川口 綾々

ありがとう 協力したから今がある

北方西小学校 6年 武藤 美帆

心のそこから 医療じゅうじ者の皆さん
ありがとう

北方南小学校 6年 豊田 唯月

何気ない日々の幸せ 有難う

北方中学校 2年 川島 あいか

言ってなかった 身近な人へありがとう

北方中学校 3年 若林 涼夏

ありがとう 気付かないところで
支えてくれて

北方中学校 3年 鷺住 朱莉

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

未来を変える17の目標 さあはじめよう!!

エス・ディー・ジーズ

SDGs

SDGs(エス・ディー・ジーズ)は、2015年の国連サミットで採択された2030年までに世界が達成すべき国際目標のことであり、日本語では『持続可能な開発目標』と言います。世界中の人々が安心して快適に暮らし続ける未来のために、協働で取り組むべき17の目標は、世界共通のカラフルなアイコンで表されています。



私たちができる身近なSDGsってどんなこと?

実は、こんな行動も! できることから取り組んでみよう!

3 すべての人に 健康と福祉を 目標3 すべての人に 健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保することで、福祉の促進につながります。 手洗い、うがい 健康診断、予防接種 使える不用品を必要な人のために寄付	8 働きがいも 経済成長も 目標8 働きがいも 経済成長も 誰もが働きがいを感じながら、生活に十分な収入を得られる雇用と経済成長につながります。 残業をしない 休暇をきちんと取る 地元の店で地元のものを買う	12 つくる責任 つかう責任 目標12 つくる責任 つかう責任 生産者と消費者が互いに責任を持って行動することで、持続可能な消費と生産につながります。 マイバッグ持参 食べ残しを減らす 商品を必要以上に生産しない	13 気候変動に 具体的な対策を 目標13 気候変動に 具体的な対策を 二酸化炭素の排出を抑えることで、地球温暖化防止につながります。 こまめに節電 詰め替え利用でゴミを減らす 近場への移動は徒歩
--	---	---	--